



オリーブ通信

2019年
2月号
2019.2.16発行
第208号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>



あたらしい なかまをしょうかい します



袁 晶晶



孫 兵



劉 娟



沈 志偉

若者にとって2月のビッグイベントと言えばバレンタインデー♡。日本や韓国では女性から男性にチョコレートを渡す日ですが、中国やベトナム、タイでは男性が女性に花束をプレゼントする日です。なのでバレンタインが近づくとバラの値段が高騰するとか。フィリピンでは恋人だけでなく家族など愛する人たちに感謝をこめて贈り物をする日だそうです。インドネシアではバレンタイン反対運動が起こったりしつつも若者は宗教と関係なく男性が女性にチョコやピンクのぬいぐるみをプレゼントするそうです。さてオリーブの皆さんは、どんなバレンタインを過ごされましたか？

中川先生のへんてこ日本語

102

お弁当、加熱しますか



コンビニでお弁当を買うと、「温めますか」とか「温め、どうしますか」などと聞かれる。その日本語が正しいかどうかは別として条件反射のように、「はい、お願いします」とか「いいえ、結構です」と答える。

先日コンビニでお弁当を買ったら、店員さんが何やら言っているが聞き取れない。「えっ？」と、もう一度言ってもらおうと、それもうまく聞き取れないので、状況から、「お願いします」と答えた。どうやら「加熱しますか」と言っているようだが、日本語母語話者ではなさそうだ。

いつもマニュアル語には厳しい目を向けている筆者だが、マニュアルから外れた予想だにしない言葉を使われると、度肝を抜かれてしまう。もっとも「加熱する」という日本語はなんらおかしくないのだが。

電車がホームに入ると、「右側の扉が開きます」などとアナウンスが入るが、「右側のドア付近にお立ちのお客様ご注意ください」と言われてびっくりしたことがある。乗客のうち、思わずドアから離れたのは筆者だけだった。

つまりわれわれは、アナウンスなどを注意して聞く耳を持っていないのか、マニュアル語だらけの日常生活に慣れてしまっているせいかな、アナウンスが何ら情報伝達の機能を果たしていないことに気づく。

「オオカミが来た、オオカミが来た」とうそをついてばかりいたウサギが本当にオオカミが来たとき、「オオカミが来た」と言っても誰も信じてはくれなかったのと同じように、日常茶飯事化してしまった当たり前には、鈍感になっているようだ。

巷に氾濫する「おかしい日本語」には全く鈍感になってしまっているが、たまに正しい日本語を聞くと、それが逆に間違っているように聞こえてしまうのは不思議なものだ。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

私の国のおいしい料理

突然の寒波に見舞われ「電車が止まるんじゃないか」と心配になるぐらい雪が降った1月26日、たくさんの生徒たちが参加して、昨年度も好評だった新年会オリーブパーティーが今年も開催されました。今年のテーマは「私の国のおいしい料理」。生徒さんがそれぞれ自慢のお国料理を作ってくれました。



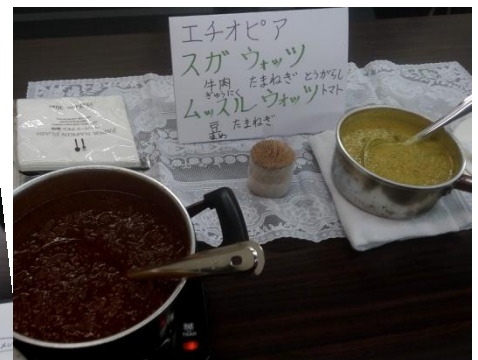
同じ国の仲間が多いところはグループに分かれて一緒にわいわい料理を作り、同じ国の生徒さんが少ないところは先生が助太刀し、調理室を借りての準備も楽しく和気あいあいと進みました。やがて美味しそうなお料理の匂いがただよってきて、教室で待つ



ているみんなもソワソワ。

それぞれのお料理が全部テーブルに並べられたらパーティー開始です！

品数が多い中国、野菜たっぷりのベトナム、インドネシアのスナックやタイの国民料理、ペルーやエチオピアのような初めて食べる料理もあって、みんな興味深々。次々とテーブルを回って世界の料理を味わいました。先生たちが作った日本の料理とフランスのマドレーヌも好評でした！



後半は、各国の生徒たちが出品した料理の説明をし、歌を歌ってくれました。
 一番最初はペルーのリリアさんとニノスカさんがペルー料理の特徴について説明。→
 ペルー料理には、じゃがいもととうもろこしが欠かせないそうです。突然のO先生
 からの「なにか歌って～」というムチャぶりにもナショナルソングで応えてくださいました。



←エチオピアから来たブルク・カーサさん。
 唯一のエチオピア代表として国の文化を紹介しました。



←タイのジェン・関さんは
 「パッタイの作り方」を紹介しました。

フィリピンのラッキ君。国民的料理
 アドボは酢と醤油、にんにく、→
 しょうが等を混ぜたものに肉を
 1時間ほど漬けてから煮ます。



中国の人が好きな
 魚とお金の縁起物を
 紹介しました ↓



中国グループは料理の説明とアンディ・ラウの
 ←景気の良いお正月ソング「恭喜发财」を歌いました。
 新年にお金がたくさん集まるように祝う歌です。
 魚の飾りは「年年有魚」（「年々有余」と同じ発音）で有り余る
 ほどお金が貯まりますようにという願いを込めて、中国の家庭
 やお店によく飾られています。

ライモンさんがインドネシアの揚げ物屋台
 ゴレンアンや料理の説明をしました。 →
 ところどころ日本語でつかえると客席
 からみんなが読み方を教えてあげるの
 で温かな一体感で盛り上がりました（笑）



インドネシア・グループは小学校で習う
 国の歌を歌いました。伝統のバティック
 のシャツがおしゃれですね。

↓



←ベトナム・
 グループは料理
 の紹介をして



旧正月（テト）の時に歌う「春の歌」を歌いました。
 さらに「去年、歌っていたテトテトの歌がもう一度聞きたい！」

というリクエストに応じて YouTube でカラオケを探して歌ってくれました。→

日本の歌も！ ということで最後は参加した先生たち全員で当日の天気になんで
 「ゆきやこんこん」を合唱した後、来月の「節分」を紹介して「今日は福だけ」と
 「福は～内！」と豆まきで盛り上がって楽しいパーティはお開きとなりました。
 最後の後片づけまで皆様ご協力どうもありがとうございました！





先月の活動(1月)

日本語教室 1/12(M),19,26 (3回)
 まちセン施設部会 1/17(木) (田中)
 オリーブ パーティ 1/26(土)
 BNN運営会議 1/15(火) (河村)



- 日本語教室の(M)は定例ミーティング
- ()内は参加者/参加予定者または担当者。敬称略

参加人数(1月)

	1/12	1/19	1/26
生徒	30人	36人	44人
先生	22人	25人	22人

新たに入会された先生方です

藤田 元 先生 →

大津市在住の高校教師(国語)です。クラスにはブラジルやペルー出身の生徒もいます。多くの方に接して見聞を広めたいです。宜しくお願ひ致します。



← 広重 信彦 先生

大津市在住の会社員、61歳、広重です。広重と聞くとみなさんあの浮世絵師を思い浮かべられるかもしれませんが私とは無関係です。宜しくお願ひ致します。



藤井 邦治 先生 →

守山から来た藤井です。趣味はテニスです。みなさんと交流させて頂く中で何かお役に立てればと思っています。よろしくお願ひいたします。



今月の活動予定(2月)

日本語教室 2/2(M),16,23 (3回)
 まちセン運営協議会全体会 2/8(金) (田中)
 KIFA 多文化交流会 2/9(土)
 (豊村・豊田・中川・中村・恩地)
 BNN 運営委員会 2/11(月)
 日本語指導者勉強会 2/16(土)
 第15回日本語スピーチ大会 2/17(日)
 (恩地・河村・田中・後藤・吉田)

会員の動き(1月)

〈入会〉 藤田 元さん、藤井 邦浩さん
 〈休会〉 なし
 〈退会〉 なし

伝えたい私のおもい 第15回

外国人による日本語スピーチ大会 びわこ日本語ネットワーク(BNN)

日時：2月17日(日)
 12:40~16:30
 場所：栗東芸術文化会館さくら

入場無料!

田中三千彦先生班の陶福東くんが発表者として出場します! 余興として、よし笛演奏や手品もあります。第二部は外国の方との交流会です。

まちセン16周年イベント

~笑顔でつむぐ草津の未来~

3月2日(土) 10:00~15:00

草津市立まちづくりセンター3階

ステージ発表

午前の部 10:00~12:00

昼食・交流 カレー 300円(予約制)

午後の部 13:00~15:00

オリーブはベトナム・チームがスライドショーで参加します。13:55頃の予定!

体験コーナー

- ・着物着付体験(事前予約が必要です)
- ・バルーンアート
- ・生命の貯蓄体操 ①10:00 ②13:30
- ・スポーツ吹矢体験 13:00-15:00
- ・ヘアカット体験 ①10:30 ②13:00

【編集後記】国際持ち寄りパーティーは、各国の食文化が垣間見えて楽しかったですね。最近、コンビニに入ったら店員さんはネパール人、近所のドラッグストアや家電屋の店員さんは中国人、職場の自販機にコココーラを補充しに来たのは背の高い黒人のお兄さん、同僚の奥さんはロシア人、と私の周囲でも日常の中に外国人がいるのが普通になりつつあります。壁を作るのではなく文化交流でお互いを知って助けあえると良いですね! 「城を守るために壁で囲う者は、その壁に閉じ込められる」と言った作家は誰だったろう…? (遠藤)